

第1章

病気への処方箋 .. 健康のために死ぬ

● 真実からはほど遠い医薬品の現状

「Medicine」という言葉には二つの意味がある。その医学界の定義としては、「病気の診断、処置、回避のための科学、あるいは実施」、そして「病気の処置あるいは回避の目的で使う薬あるいは製剤」である。

「薬」と呼ばれる様々な医薬品や製剤は、医療従事者が患者に提供する「医療」の中核を成す不可欠なものと考えられている。定義に「科学」を含むことから、医学の実践は、科学的に確立した証拠に基づき、完全に裏付けられた強固な基盤を持つとの印象を受ける。また、この定義は、医薬品や製剤の使用も同様に科学的根拠に基づき、「医薬品」はその目的に適切かつ効果的との印象を与える。

しかし、残念ながら、真実からはほど遠い。病気の治療や回避に「薬や製剤」を用いる、いかなる医療実践においても、「科学」的基盤は無いし、患者の健康を取り戻せるものは無い。

この宣言は、確実に多くの人がとんでもないと思うだろうが、真実であることを否定はできない。本章では、病気治療目的の薬の使用について説明する。病気予防のためのワクチン接種については、次の章で説明する。

● 「処置」はあっても「回復」なき医学

Medicineの定義の興味深い点としては、これが「処置(treatment)」を指すことであり、病気の「回復」では無いことだ。なぜなら、医学界は多くの病気について「不治」と宣言しているからである。こうした病気について彼らの言うことは、適切な処置で患者の状態を「管理」することだ。つまり、その症状は緩和されるだけで、除去され

数百の異なる病気があると医学界は主張し、それぞれ認識可能なユニークな一連の症状があり、適切な「医療」に

より治療可能だという。「医療」の目的は症状の停止であ

る。その結果、治療により病気を成功裏に乗り越えたと解釈される。

少なくともこういった理論である。しかし、実際に現実

世界では、同じ病気と診断され、同じ医療を受けても、各

患者の経験としては広範囲の異なる結果であることが稀で

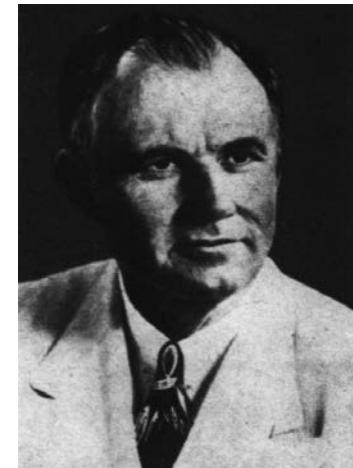
はない。このように大きく異なる結果になることは、理論

に対する直接的な異議申し立てである。患者の中には、症

状の完全な停止を経験する者もいる。しかし、この成功の

結果は医療のおかげではありえないし、健康回復を意味し

てもいない。この理由は後の方で説明する。



"Physicians who are free with their drugging keep themselves busy treating the effects of the drugs."

Herbert Shelton ND DC

□ 「薬漬けを惜しまない医師は、副作用の処置に忙殺され続ける」

ハーバート・シェルトン (Herbert Shelton)

るわけではない。

広く認められることとして、すべての医療は「副作用」を生じる。これは、事实上その治療から直接的に生ずる新たな症状である。この事実の重大性が十分には言われないため、ほとんどの人は理解不足である。しかし、新たな症状の発生とは、本質的には新たな健康問題の発生を意味するのだから、これは現行医療システムの中核的問題である。

病気の処置に使われる薬の効力には大きなばらつきがあり、薬により起る症状の存在も明らかだ。これが重大な疑問を投げかける。「医療」システムの基本的目的と機能であるはずの、患者の健康状態を回復する能力に対する疑問である。

WHO（世界保健機関）のウェブサイトでは、健康の定義「R 1. 1」を次とする。

「健康とは、完全な物理的、精神的、そして社会的な幸福状態であり、単に病気や欠陥の不存在ではない」

この定義は、1948年のWHO設立時の憲章で初めて宣言されて以来変更されていない。WHOは、UN（国連）の機関であり、WHO憲章を批准するすべての国の全国民の健康に関する「権威」と指定されている。言い換えれば、WHOは実質的に全世界の健康政策を指示する。しかし、病気治療に関するWHOの推奨政策としては、ほぼ例外な

く「薬」の使用が指定される。症状緩和のみで、病気治療効果が無いと認められているものをだ。
WHOの政策は、WHOの目的「あらゆる場所で、すべての人のために、よりよい健康を実現する」とは明らかに矛盾する。特に、WHO自身の「健康」の定義と照らし合わせれば明らかだ。

●科学者の役割とは

科学とは過程である。この過程には、人間の知識レベルを拡張するために、世界の様々な側面の研究を含む。これら科学的調査の中で観察された様々な現象を説明するための、仮説や理論の作成も必然となる。様々な研究や知識の中身が増えるにつれ、新たな情報が得られたり、既存の仮説や理論の特異点や矛盾が現れることがある。この場合、その研究分野が何だろうが、科学者に必要とされることは、これらの仮説や理論を新たな発見の日の下にさらし、再評価することである。この過程で、主流理論の改訂や改変を必要とするかもしれない。時には、新たな情報が、既存理論の放棄と共に、完全に新たなものへの置き換えを示唆するかもしれない。特に、新たな理論が、観測された現象について、より良くより説得力のある説明を提供する場合だ。

病気治療のための「医療」の基礎理論には、多くの異常や矛盾を示すことができ、明らかに徹底的再評価が必要である。しかし、より重要な点としては、人間の病気とその原因について、はるかに信頼性が高い、説得力のある他理論が存在することだ。また、その説明は、人々が自身の病気の原因に対処する手段を提供し、ほとんどの病気の状態から完全に回復し、本当の意味での健康な状態に戻す助けになりうる。

医療目的での植物の使用は、世界の多くの地域で記録されており、数千年前にまでさかのぼる。例えば、アーユルベーダは古代インドの医療システムであり、5000年前にさかのぼると言われる。TCM（伝統的中国医療、漢方）もまた、数千年前と言われる。そのルーツはアーユルベーダにあるとされ、二つのうちアーユルベーダの方が古い。これら多くの古代システムもまた、世界中の地域に影響を与えた。例えば、古代ギリシャの医療は、アーユルベーダと古代エジプトの医療に影響を受けたと言われる。後者のシステムはパピルスに記録され、文書化された。そのいくつかは数千年前にさかのぼる。